

## 顎顔面バイオメカニクス学会誌 投稿規定

### 1. 投稿権

投稿原稿の筆頭著者は、原則として本会会員に限る。

### 2. 著作の未投稿

投稿原稿は著者の原著であり、一般に公表されている刊行物に未投稿のものに限る。

### 3. 審査

投稿原稿の学会誌への掲載の可否は、複数の校閲委員による査読に基づいて、編集委員会が決定する。編集委員会は、著者に対し原稿の書き直しなどを求めることがある。

### 4. 印刷原稿

掲載可となった原稿については、著者が学会規定の書式に従った印刷原稿を作製する。投稿原稿にない加筆や訂正は原則として認めない。

### 5. 著作権

学会誌掲載の著作物の著作権は本学会に帰属する。ただし、著作物の内容については著者が責任を負う。

### 6. ホームページへの掲載

本学会は、学会誌掲載の著作物を学会のホームページに掲載することがある。

### 7. 掲載費

編集委員会よりの依頼原稿については、掲載料および規定部数の別刷料を無料とする場合がある。上記以外の投稿原稿については、掲載料および別刷料を有料とする。

### 8. 原稿送付先

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積1851

朝日大学 口腔病態医療学講座インプラント学分野

顎顔面バイオメカニクス学会 編集事務局 永原國央

mail: nagahara@dent.asahi-u.ac.jp

## 顎顔面バイオメカニクス学会誌 執筆要綱

### 1. 寄稿の種類

本会誌への寄稿の種類は、原著論文、解説論文、臨床論文、研究資料、総説、その他とする。

### 2. 使用言語

投稿原稿には日本語もしくは英語を使用する。原著論文、研究資料、総説の和文原稿には英文抄録を必要とし、図中および表中の説明は原則として英文とする。

### 3. 規定頁数

1編の掲載規定頁数は、原則として刷上りで次のとおりとする。論文は20頁以内、資料は10頁以内、総説は20頁以内、その他は5頁以内。

### 4. 原稿の形式

MS Wordなどで電子的に作製する。ページレイアウトはA4サイズとして、本文では適切な余白を設定し、12ポイント程度のフォントを用いてダブルスペースで記載する。図および表についても、原則として本文と同一のファイルに入れ、用紙1枚につき1つを記載する。

### 5. 原稿の書き方

5.1 和文の原著論文、研究資料、総説の原稿は、次の順で記述する。寄稿原稿の種類、和文表題、和文著者名、和文連絡先、英文抄録（200語程度）、5つ程度の英文キーワード、本文、謝辞、文献、図説、表、図。

5.2 英文の原著論文、研究資料、総説の原稿は、次の順で記述する。寄稿原稿の種類、英文表題、英文著者名、和文連絡先、英文連絡先、英文抄録（200語程度）、5つ程度の英文キーワード、本文、謝辞、文献、図説、表、図。

5.3 本文の記載は、緒論、材料および方法、結果、考察、結論、の構成を標準とし、章や節の題名を記載する行では行頭に1., 1.1, 1.1.1のように番号を付するものとするが、著者の判断で適切な構成を選んで良い。

5.4 参考文献は、引用箇所に両括弧で囲む上添字で引用順の番号を付け、本文の末尾に番号順に並べる。記載様式はVancouver Styleとし、雑誌名はIndex Medicusに従って略記する。（雑誌の場合には、著者名、論文題名、雑誌名、年；巻（号）：開始頁－終了頁、単行本の場合には、著者名、書名、出版社所在地：出版社名；年、p. 開始頁－終了頁。）

5.5 表は Table 1, Table 2のように通し番号を付け、図は Fig. 1, Fig. 2のように通し番号を付ける。図、表の横幅については、原則として2段組の刷り上がりで片側1段、または両側2段ぶち抜きのとちらかとする。

5.6 用いる単位は原則としてSI単位系による。

### 6. 原稿の提出

原稿はメールに添付して編集委員長あてに送付する。原稿ファイルを記録したCDRなどの郵送も受け付ける。